

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築設計製図 I	担当教員	門脇和正(非常勤) 今田太一郎 藤田大輔 鶴田佳子		
学年学科	3 年 建築学科	通年	必修	4 単位	
学習・教育目標	(D-2 設計・システム) 100%				
授業の目標と期待される効果： 建築設計は、複数の専門知識を統合して行われる作業である。また、設計条件によって計画も左右される。本演習では、概括的な総合能力を養うことを目的とする。 ①設計条件、社会的要請に応えることができる。 ②各種施設のプログラム（機能など）を構成できる。 ③的確に施設計画を計画できる。 ④計画内容を的確に伝え、表現することができる。		成績評価の方法： 総得点 400 点に占める得点率をもとに評価を行う；第一課題（100 点）、第二課題（100 点）、第三課題（100 点）、第四課題（100 点）とする。総合評価の重み付けは各課題の配点比に従う。			
		達成度評価の基準： ①課題にふさわしいコンセプトを作成できる。（7割） ②的確な機能・空間構成を行える。（7割） ③多角的な視点から、施設の機能、空間を検討し、創造的に組み立てることができる。（7割） ④明快かつ、美しいプレゼンテーションおよび説明によって、計画内容を相手の的確に伝えることができる。（7割）			
授業の進め方とアドバイス： ・課題の対象施設の様々な事例を、授業で示される例だけではなく、積極的に雑誌・資料集などにより調べること。 ・授業計画を基に、主体的にスケジュールを立て、授業時のエスキースチェックを参考にしながら着実に計画を進め、締め切り間際に作業が集中しないようにする。 ・常に図面やスタディ模型の作成などによって、考えを形にしていくこと。					
教科書および参考書：日本建築学会編 コンパクト建築設計資料集成（丸善）					
授業の概要と予定：前期					
第一課題：個人住宅（木造）の計画 担当：門脇和正					
第 1 回：課題提示・説明					
第 2～7 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）					
第 8 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）					
第二課題：公共施設 担当：今田太一郎					
第 9 回：課題提示・説明					
第 10 回～14 回：エスキースチェック 1～5（コンセプト、平面図、立断面図）					
第 15 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）					
授業の概要と予定：後期					
第三課題：学校建築 担当：藤田大輔					
第 16 回：課題提示・説明					
第 17～22 回：エスキースチェック 1～6（コンセプト、平面図、立断面図）					
第 23 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）					
第四課題：集合住宅の計画 担当：鶴田佳子					
第 24 回：課題提示・説明					
第 25～29 回：エスキースチェック 1～5（コンセプト、平面図、立断面図）					
第 30 回：講評会・フォローアップ（課題を返却し解説および評価方法の説明を行なう）					